



# IFFIm

International Finance Facility for Immunisation  
予防接種のための国際金融ファシリティ(IFFIm)



THE WORLD BANK

“先進国ではワクチン接種が当然と考えられておりますが、途上国ではいまだに数百万の子供達が接種を受けられないでいます。しかし、これは解決が可能なことなのです。”

-- メリンダ・ゲイツ, ビル&メリンダ・ゲイツ財団



1

概要

2

GAVI アライアンスとIFFImの成果

3

IFFImの資金調達と世界銀行の役割

1

## 概要

2

GAVIアライアンスとIFFImの成果

3

IFFImの資金調達と世界銀行の役割



“IFFImが発行する債券への投資により、金融収益が得られるだけでなく、人道的な貢献を行うこともできます。投資により貴重な生命が即座に救われるのです。”

-- Dr. アラン・ギレスピー, IFFIm 理事会会長



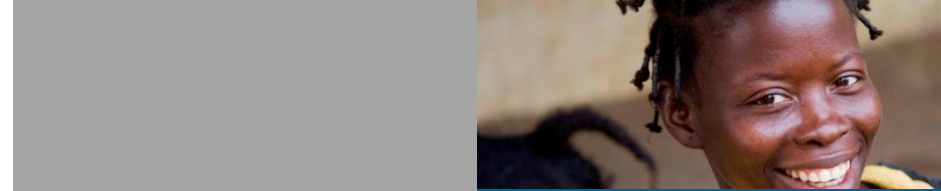


## IFFImの概要

- IFFIm は予防接種のための長期資金を円滑に調達することにより、GAVIアライアンス(以下GAVI)を支援しています。
- 多国間開発機構として2006年に設立されました。
- AAA/Aaa/AAA の高格付です。  
(フィッチ/ムーディーズ/スタンダードアンドプアーズ)
- BISリスクウェイトは0%となっています。
- 2007年、本邦資本市場でもソブリン発行体であることが認定されました。
- 世界銀行が財務マネージャーとして、IFFImの財務活動全般を管轄しています。



© WHO/Christopher Black



## IFFImの2015年までの目標:

将来にわたって加盟国から寄付される総額40億ドルを、投資家の皆様から先に借入れて、予防接種のために一気に拠出します。

予防接種により、5億人以上の子供の命を救うことが目標です。そのための資金は、2026年まで加盟国から寄付されますが、債券発行によって、その資金を前倒して借入し、大規模な予防接種を早期に展開することで、効果を最大限にすることが可能となります。



© WHO/Marko Kocic



## IFFImの柔軟な資金調達

予防接種は、小規模なものを長期間実施するよりは、大規模なものを短期間で実行・完了させる方がはるかに効果が高いのです。

IFFImの柔軟な資金調達により、各国の寄付に先んじてGAVIの資金の前倒調達が可能になります。

この資金で大規模な予防接種活動を実行し、急速に進む途上国の罹患率や死亡率を低下させることにより、多くの人の命を救えるのです。







## GAVI アライアンスとは？

### 公的機関と民間機関のパートナーシップ:

予防接種、新しい医療技術を積極的に推進することで、人々が健康的な生活をおくることができるよう、世界各地で支援活動を行っています。

**途上国主導の支援:** 開発途上国が主体的に事業に参加することにより、国ごとのニーズに的確に対応したサポートを行っています。

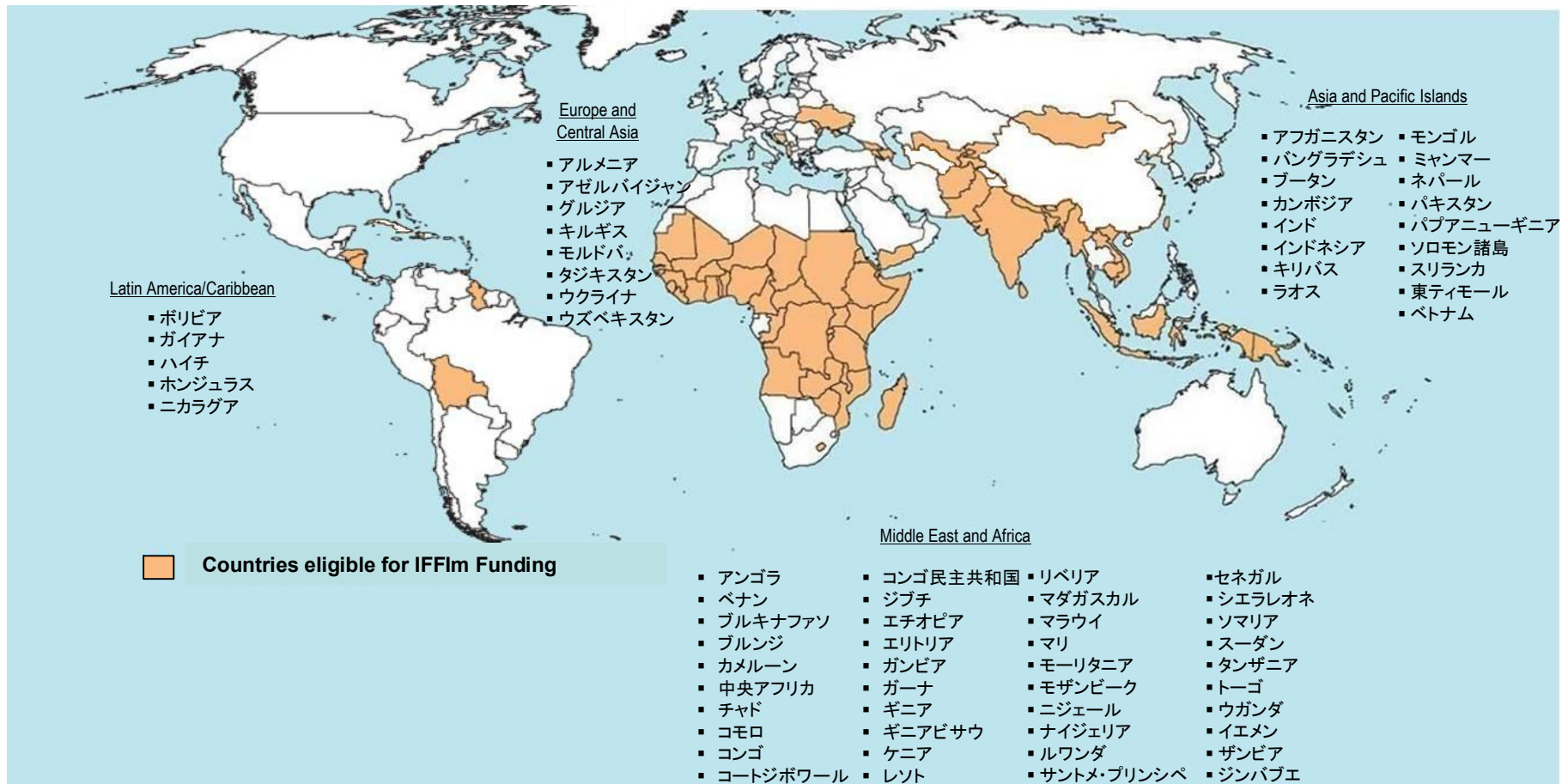
**成果:** GAVIは実績を重視しており、寄付金は予防接種対象範囲拡大を実現した国々に優先的に供与されます。

**計画的な長期支出枠:** GAVIは支援対象国に長期間安定的な資金供与を実現します。

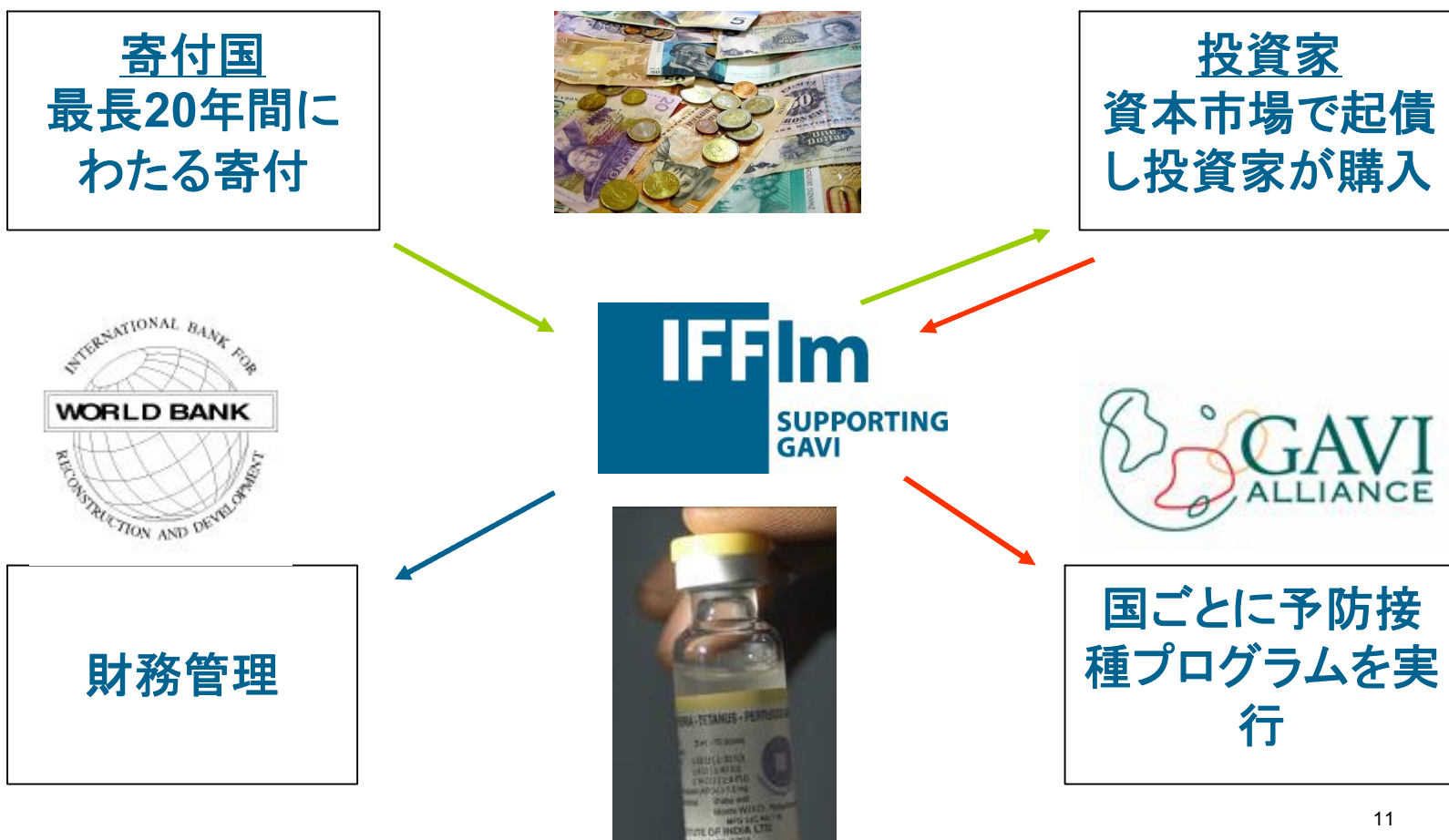


© GAVI/Olivier Asselin

# IFFImは、70カ国もの途上国に於けるGAVIの保健・予防プログラム のための資金調達を行っています。



## IFFImはどのように運営されている？



# IFFIm 寄付国一覧

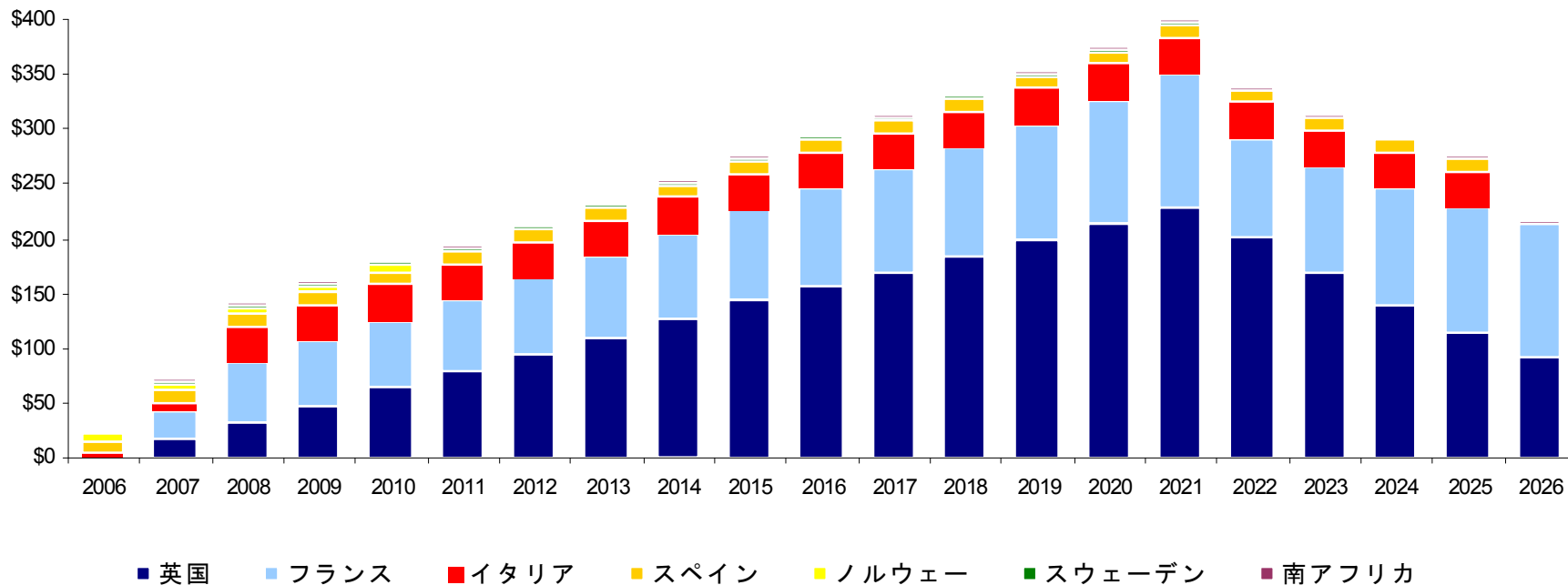
法的拘束力のある寄付金協定締結国。IFFImは新たな寄付国の参加を呼びかけています。

| 寄付国   | 格付け         | 寄付額         |           |
|---|-------------|-------------|-----------|
|  英国        | AAA/Aaa/AAA | 13億8000万ポンド | } 約53億米ドル |
|  フランス共和国   | AAA/Aaa/AAA | 12億3996万ユーロ |           |
|  イタリア共和国   | AA-/Aa2/A+  | 4億7345万ユーロ  |           |
|  スペイン王国    | AAA/Aaa/AA+ | 1億8950万ユーロ  |           |
|  スウェーデン王国  | AAA/Aaa/AAA | 2億7615万クローナ |           |
|  ノルウェー王国   | AAA/Aaa/AAA | 2700万米ドル    |           |
|  南アフリカ共和国 | A/A2/A+     | 2000万米ドル    |           |

# 加盟各国からの寄付金はIFFImの借入資金の返済原資となります。

(単位:百万米ドル)

- 加盟各国は今後20年に渡り、寄付金を支払います。



1

概要

2

**GAVI アライアンスとIFFImの成果**

3

IFFImの資金調達と世界銀行の役割



“我が子の健康は何物にも代え難いものです。是非子供達を  
診療所に連れてきて下さい。”

-- プリシラ・カルシー, 仕出し業を営む母親 ガーナのアクラにて





## GAVIの成果:子供の予防接種量の増加

WHO 2000年-2008年 見通し:

- GAVIの活動の結果、新たに2億1300万人の子供達が新ワクチンで救われました。  
何種類かのワクチンを受けた子供もいます。
- 340万人以上の乳幼児の早期死亡が予防されました。







## GAVIの成果: 新種及び既存ワクチンを効率的に活用

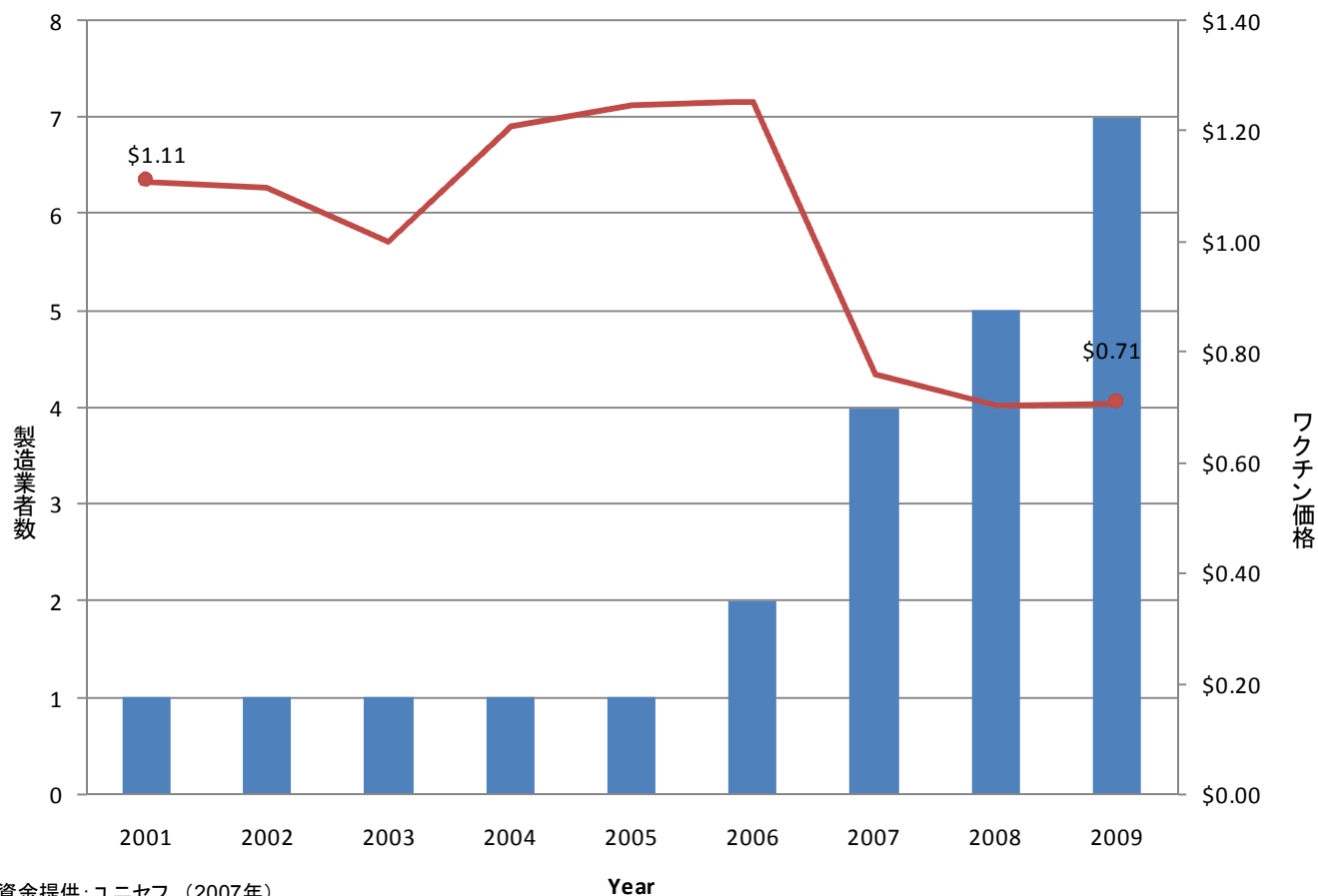
- 累積1億9200万人の子供たちがB型肝炎の予防接種を受けました。
- 累積4170万人の子供たちがヘモフィラス・インフルエンザ菌b型(Hib)の予防接種を受けました。
- 累積3560万人の子供たちが黄熱病の予防接種を受けました。



© UNICEF/Rasoka Thor

# GAVI の成果: ワクチン価格の低下が実現する 「持続可能な支援」

- GAVIの大規模な活動により、ワクチン需要増と新規製造業者を促し、ワクチン価格が大幅に下落





## インフルエンザ菌b型(Hib)とは？

インフルエンザ菌b型は髄膜炎や肺炎を引き起こし、時には生命の危険も伴います。Hibにより、毎年37万人の子供たちが亡くなっていると推定されます。仮に回復しても、麻痺、難聴、精神遅滞、学習障害等の後遺症が残ることもあります。





## Hib ケーススタディ インフルエンザ菌b型ワクチンの世界規模な増加

インフルエンザ菌b型ワクチン (Hib)は GAVI設立当初から対象国に提供可能でしたが、摂取率増加は2006年までは緩やかでした。今では54カ国が GAVIよりHibワクチンの支援を受けることが承認されています。さらに、市場に多くの生産者が参入することによって競争が活発になり、ワクチンの価格下落が見込まれています。GAVIはIFFImで調達した資金を、各国の個別プログラムにおける急速なHib ワクチン接種率増加のために活用しています。



© GAVI/Olivier Asselin



## 黄熱病

黄熱病とは、非常に強い感染力かつ致死性のあるウィルス性疫病で、多くの人々が犠牲になりました。

しかしながら、ワクチン接種は非常に有効で、既に各地で定期予防接種が導入されています。また、現在疫病集団発生リスクが最も高いとされる西アフリカの12カ国に対しては、疫病集団発生や予防のための備蓄プログラムを通じてワクチンが提供されます。同プログラムはIFFImによって資金手当がなされています。



GAVI/08/Olivier Asselin



## 黄熱病ケーススタディー 北ブルキナファソでの集団予防接種

ブルキナファソでは予防接種が順調に行われていましたが、2008年10月、予防接種を受けていなかった男児二人が疫病に感染しました。

IFFImによって資金手当される備蓄プログラムは、リアルタイムでのワクチンの提供を可能にします。症例が確認された段階で速やかに集団予防接種が導入可能です。。





## 妊産婦および新生児の破傷風(MNT)とは？

妊産婦と新生児にとって恐ろしい破傷風は、途上国の中でも最も貧困にあえぐ人々の命を奪っています。途上国で発症する破傷風による致死率は非常に高いのです。世界規模での妊産婦・新生児破傷風撲滅はワクチン接種で可能になります。



UNICEF Ethiopia/Indrias Getachew



## MNT ケーススタディー Bangladeshでの妊産婦・新生児破傷風撲滅対策

2008年には、IFFImが提供する資金より、Bangladeshでの妊産婦・新生児破傷風撲滅度に関する調査が行われました。

Bangladeshでは、1,000人中40人（およそ4%）であった子供の感染者数が現在では1,000人中1人未満になりました。別の言い方をすれば、20-30年前には50%であった新生児の破傷風による死亡が、1%以下に減少したことになります。



© Dr Balvinder Singh





“これまで予防接種を受ける機会に恵まれなかつた多くの子供たちが救われました。”

-- ボニー・スマイリ, UNICEF, 保健担当オフィサー、コンゴ民主共和国



1

概要

2

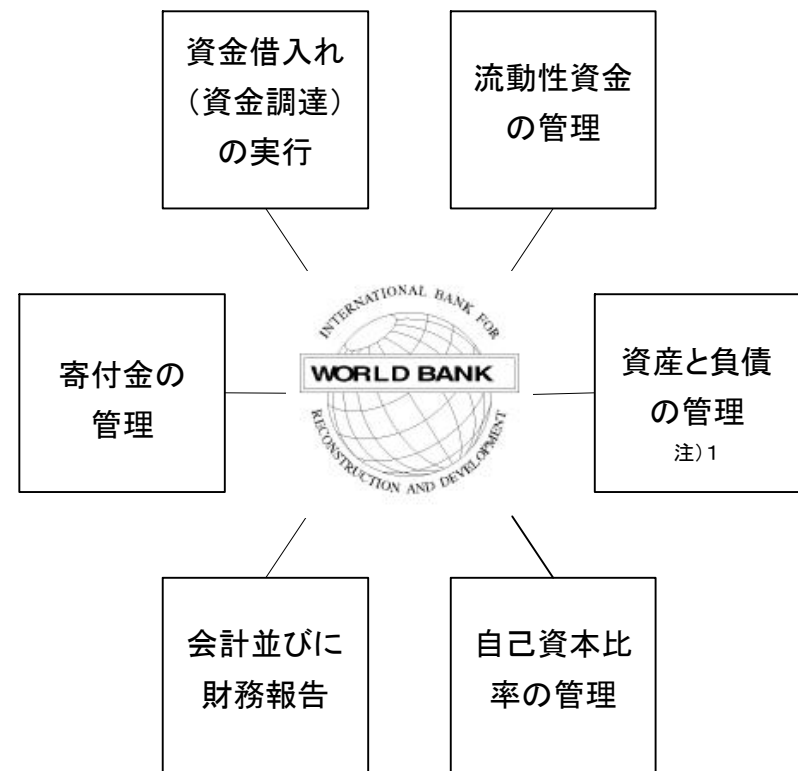
GAVIアライアンスとIFFImの成果

3

**IFFImの資金調達と世界銀行の役割**

## 世界銀行によるIFFImの資金調達

- **財務マネージャー**: IFFIm理事会は世界銀行を、財務運営を管理する財務マネージャーとして任命しました。
- **経験**: 60年以上にわたる資本市場での経験
- **堅実な財務方針に基づく着実な運営**
- **最高位の格付**: 世界銀行はIFFImのAAA/Aaa/AAA格付を支えています。



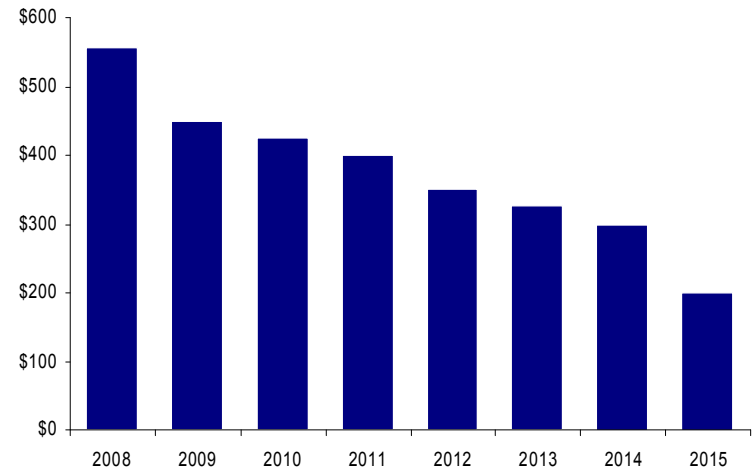
<sup>1</sup> 世界銀行はIFFImの各種ヘッジ取引の実行をサポートしています。



## IFFImの主な財務方針

- 寄付金・負債比率**  
 投資家の皆様からお借りした資金を確実に返済するために、IFFImはワクチン債の発行総額を厳密に管理しています。具体的には、将来の全ての寄付金を現在価値に引き直し、その70%を債券の発行総額上限としています。
- プログラムを最大限活用**  
 IFFImは年間の最大許容額までプログラムを承認し、使用されなかった額は翌年に追加されます。
- 必要最低限の流動性を維持**  
 資金をワクチン事業に有効に活用するため、流動性資金を極力少なくしています。(今後12ヶ月間の負債元利支払額)
- 資産と負債バランスの総合管理**  
 通貨スワップを活用し、資産(寄付金)、負債(債券発行)の市場リスクを効率的に管理し、軽減しています。世界銀行はIFFImの財務関連の市場取引を責任を持って正確に代行しています。具体的には、IFFImがまず世界銀行と通貨スワップ取引を行い、そのあと世界銀行が市場で同じ取引を実行してフルカバーをしています。
- 安全性を重視した流動性管理**  
 手元の流動性資金は、高格付けのプレーンな債券でのみ運用しています。

**最大プログラム許容額 2008-2015年**  
(単位:百万米ドル)<sup>1</sup>

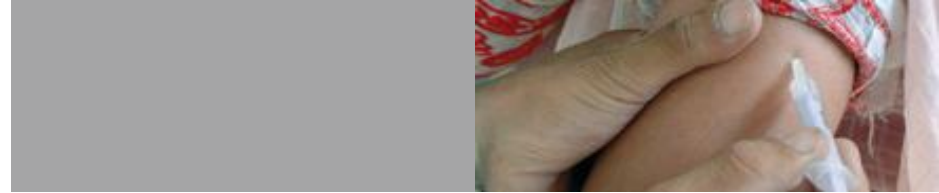


<sup>1</sup> 2006-2007年のための最大プログラム承認額の残高5,530万米ドルは、2008年に繰り越されました。2008年の残高18,200万米ドルは2009年に繰り越されました。



## ワクチン債発行総額の厳密な管理について

- IFFImは、今後寄付国より支払われる予定の寄付金総額の純現在価値内で資金調達をしています。将来の寄付金総額を越える借金は返済が出来ないからです。
- 寄付金総額と借金総額（ワクチン債発行総額）の適切なバランスを保ち、投資家の皆様への返済を確実にするために、IFFImは新しいワクチン債の発行を制限することもあります。寄付金総額・借金総額比率（ギアリングレシオ）が上限（現状70%）を超えたり、少なくとも2つの格付け機関からのトリプルA格付けが保てなくなると、ワクチン債の新たな発行を停止します。
- ギアリングレシオが上限に近い場合は、同比率が適切な水準に下がるまで、ワクチン普及プログラムの資金提供を一時中止します。
- IFFImは、予定している資金拠出、IFFImの支援対象国の適格性、寄付国の信用性を含む様々な要因をベースに、ギアリングレシオの最適水準を算出し続けています。
- 格付け機関は、ギアリングレシオの厳格な管理を、IFFImのAAA/Aaa/AAA格付の理由の一つに挙げています。



# 寄付金支払い条件

IFFImに支払われる寄付金も厳格に管理されています。

- IFFIm の支援対象国が、IMFに対し債務延滞に陥った場合は、寄付国からIFFImへ支払われる寄付金が減額されます。(IMF).<sup>1</sup>
- IFFImの資金で支援を受ける国々は「参照ポートフォリオ」の状況に準拠して寄付金を支払います。
- 仮にIMFに対する延滞債務が増加すると、一定の算出比率に基づいて、加盟国は寄付金を減額することになります。(IMF).<sup>2</sup>  
これにより、支援を受ける国々が、一方的に支援を受けるだけでなく、こうした支援を通じて、「自らの責任と努力」によって、「持続可能な発展」を実現し、最終的には途上国を「自らの力」で卒業することを即すのです。
- 現在、ソマリア、スーダン、ジンバブエの3カ国がIMFへの債務が延滞しています。それぞれ、「参照ポートフォリオ」の1%を占めているため、現在のIFFImへ対する寄付金は3%減額されています。この延滞比率の予想値は常時モニターされ、最新の数字が算出されています。現時点で想定される最悪の事態での同比率を算出し、さらに十分な余裕をもって「ギアリングレシオ」が算出されます。ギアリングレシオの上限は現時点では70%に設定されています。
- IMFへの債務延滞が回復すれば、将来的に寄付金は再び増額されます。

| IFFIm Reference Portfolio  |                            |             |
|--|----------------------------|-------------|
| Countries  | Country Share of Portfolio | Total Share |
| Afghanistan, Angola, Armenia, Azerbaijan, Benin, Bhutan, Bolivia, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Central African Rep. Chad, Comoros, Congo, Republic of Côte d'Ivoire, Djibouti, Eritrea, The Gambia, Georgia, Ghana, Guinea, Guinea-Bissau, Guyana, Haiti, Honduras, Kenya, Kiribati, Kyrgyz Republic, Lao PDR, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Moldova, Mongolia, Mozambique, Myanmar, Nepal, Nicaragua, Niger, Papua New Guinea, Rwanda, Sao Tome & Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, Sri Lanka, Sudan, Tajikistan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Uganda, Ukraine, Uzbekistan, Yemen Rep., Zambia, Zimbabwe | 1%                         | 62%         |
| Vietnam  | 3%                         | 3%          |
| Bangladesh, Democratic Republic of Congo, Ethiopia, India, Indonesia, Nigeria, Pakistan  | 5%                         | 35%         |
| Total  |                            | 100%        |

<sup>1</sup> 6ヶ月以上IMFへの返済が延滞すると、その額が「参照ポートフォリオ」に反映されます。返済がなされない間は当該国へのワクチン提供は一時ストップします。詳細につきましてはIMFのホームページ [www.imf.org](http://www.imf.org) をご参照ください。

<sup>2</sup> IFFIm加盟国は、ここで説明する条件にしたがって、将来の寄付金支払いを確約しており、その支払いには法的拘束力があります。詳しくは 2005年8月発行IFFImプレスリリース <http://europa.eu.int/rapid> をご参照ください。

## IFFImはいつどのように資本市場で 借入れ—債券の発行・販売—を行うのか？

- 2015年までに40億米ドルが予定されています。
- 年次借入れ額はパートナー諸国の予防接種プログラムのニーズに左右されます。
- IFFImは個人投資家から機関投資家の幅広い需要に応え、大型で流動性の高いものから、個別の投資家のニーズに対応したオーダーメイドのものまで、様々な債券を発行します。



世界銀行は、日本の資本市場で35年以上も世銀債を発行しています。世界銀行は、究極的には同じ目標を持つIFFImのワクチン債発行を全面的に支援し、投資を通じて日本の投資家の皆様に、多くの子供たちの命を助けていただけるのならば、これ以上の幸せはありません。

-- 世界銀行 財務局駐日代表 有馬 良行





## ウェブサイト

IFFIm: [www.iff-immunisation.org](http://www.iff-immunisation.org)



GAVI アライアンス: [www.gavialliance.org](http://www.gavialliance.org)



世界銀行: [www.seginsai.org](http://www.seginsai.org)



# Disclaimer

This presentation has been prepared by the International Bank for Reconstruction and Development (“IBRD”), as Treasury Manager for International Finance Facility for Immunisation Company (IFFIm) for information purposes only, and neither IBRD nor IFFIm makes any representation, warranty or assurance of any kind, express or implied, as to the accuracy, completeness or reliability of any of the information contained herein. The information contained in this material is subject to changes without notice and past performance is not indicative of future results. None of IFFIm, IBRD, or any of its affiliates, advisers (including the lead managers) or representatives shall have any liability whatsoever (in negligence or otherwise) for any loss howsoever arising from any use of this material or otherwise arising in connection with this material. The IFFIm board of directors has not approved this presentation. This presentation is not an offer for sale, or a solicitation of an offer to buy, any notes or other securities of IFFIm.

This presentation and the information contained herein is not for publication, distribution or release, in whole or in part, in or into, directly or indirectly, the United States or to a U.S. Person (as defined in Rule 902 of Regulation S under the Securities Act). Any Notes which have been or will be issued by IFFIm under its Global Debt Issuance Programme or otherwise have not been and will not be registered under the Securities Act and have been, and will only be, offered or sold (1) in the United States or to, or for the account or the benefit of, U.S. persons in a transaction exempt from, or not subject to, the registration requirements of the Securities Act or (2) to non-U.S. purchasers in offshore transactions pursuant to Regulation S adopted under the Securities Act.

This presentation includes “forward-looking information” within the meaning of Section 27A of the U.S. Securities Act of 1933 (the “Securities Act”), and Section 21E of the U.S. Securities Exchange Act of 1934. All statements other than statements of historical fact are, or may be deemed to be, forward-looking statements. Statements that describe our objectives, plans or goals are or may be forward-looking statements. These forward-looking statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors that may cause our actual results, performance or achievements to differ materially from the anticipated results, performance or achievements expressed or implied by these forward-looking statements. Such forward-looking statements speak only as of the date on which they are made.

Each recipient of this presentation is deemed to acknowledge that this presentation is a proprietary document of IFFIm and by receipt hereof agrees to treat it as confidential and not reproduce, redistribute or disclose it, or permit reproduction, redistribution or disclosure of it, to third parties without the prior written consent of the IFFIm. All content (including, without limitation, the graphics, icons, and overall appearance of the presentation and its content) are the property of IFFIm. IFFIm does not waive any of its proprietary rights therein including, but not limited to, copyrights, trademarks and other intellectual property rights.

**Cover Photo Credits (from left to right):**

© UNICEF/ HQ05-0374/Palani Mohan, UNICEF/ HQ05-0709/Christine Nesbitt, UNICEF/ HQ05-1796/Giacomo Pirozzi



# IFFIm

International Finance Facility for Immunisation

予防接種のための国際金融ファシリティ(IFFIm)



THE WORLD BANK